

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 2 月 23 日

【評価実施概要】

事業所番号	572510618
法人名	株式会社コーポレーション
事業所名	グループホーム鳥海
所在地	(電 話)
評価機関名	マイケアプラン研究会
所在地	秋田市東通
訪問調査日	平成21年2月21日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然環境に恵まれた地域にあります。季節行事時にはスタッフの方々と共同して準備から取り組まれている等前年よりも地域住民との交流が促進されています。入居者も個人個人の能力に合わせて畑で作物を育てる作業等に参加し、それを食材としています。食事時にはその時のエピソードを語りあったりしています。又、スタッフも集団としてケアに取り組み役割り分担をしながら日々の実践に取り組み目標に向かった実践を展開しています。入居者が各々のペースで生活しており、のどかな雰囲気での生活を楽んでいます。運営推進会議も上手く機能しています。

【情報提供票より】 (H 2 1 年 2 月 5 日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 11 月 15 日
ユニット数	1 ユニット
職員数	10 人
利用定員数計	9 人
常勤	9人, 非常勤 1人, 常勤換算 3人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷 金	有 (円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		966 円	

(4) 利用者の概要 (2 月 5 日 現在)

利用者人数	名	男性	6 名	女性	3 名	
要介護 1	1	要介護 2	3			
要介護 3	4	要介護 4	1			
要介護 5	0	要支援 2	0			
年齢	平均	79.8 歳	最低	67 歳	最高	89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	市立鳥海診療所 いしだ歯科診療所
---------	------------------

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価報告に基づきスタッフで討議を行い、外部評価の内容を参考にした事業所の現状について共通認識が得られ、新たな目標が設定されました。その中で日常的なケア・具体的な目標も設定され日常の実践に活かされています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ケアマネのプランに基づき入居者毎のケア方針が生かされるようスタッフの取り組みがなされています。又、運営推進会議の内容をプラス方向に生かす取り組みも実践されています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、新たな取り組みや入居者の可能性を引き出すことを目標にした取り組みが報告されています。運営推進会議での討議内容を参考とした事業運営を行っていることから、新たな実践の源として機能しています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の素朴な疑問から発したスタッフ集団としての取り組みがありました。家族からの要望をスタッフ集団として受け入れ、可能性に挑戦する取り組みが大きなADLの改善に繋がった事例がありました。家族の希望をスタッフ集団として受け入れるシステムが機能しています。それが家族とのつながりをより強化しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームには施設がされていません。新たな実践として取り組んだ菜園に各々のレベルで取り組むことにより近隣住民との交流が深まりました。日常的にも住民がホームに立ち居寄り、等の交流が確立されています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念は判りやすく掲示されています。スタッフもその理念に基づく目標の実現に向かって共同した取り組みが実践されています。又、地域との関係も構築されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を実践化する為にスタッフの役割分担がなされています。又定期的な会議においても討議が日常的に実践されています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	初めて行なわれた夏祭りには地域住民が沢山参加され、スタッフ及び入居者の交流が図られました。又、日常的にも住民の方がホーム内に立ち寄り野菜等の差し入れ等が行なわれています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフは評価の意義をしっかり理解しています。昨年度の評価の結果も入居者家族に伝えていきます。スタッフはその結果の基づき新たな目標を掲げその実現の取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月毎に運営推進会議が開催されています。消防・警察及び行政・自治会長等関係者が参加しています。入居者のケア内容等についても意見交換等が行なわれています。又、ホームに対し取り組んで欲しい要望等も提案されています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月開催されるケア会議等にも積極的に参加しサービスの質の向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の生活状況は家族には連絡しています。又、金銭管理及びスタッフの移動があった場合にも連絡しています。又、家族も頻繁にホームに立ち寄りスタッフとの交流が保たれています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来所時等に家族から意識的に意見・要望等を引き出すように努めています。又、会報により家族にホームでの生活状況を伝えています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの移動は殆どありませんでした。定年退職され方及び新たに採用されたスタッフは回報で家族にも報告しています。家族も来所された時に声をかけてくれています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な研修会等が開催されています。テーマもスタッフから提起される時もあります。スタッフ集団としてケアの質の向上に取り組まれています。又、ホームとしてスタッフの資格取得にも力を入れています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会が年3～4回開催されています。スタッフも参加しています。昨年は協議会で当ホームの見学研修会が行なわれています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	入居者のアセスメントにより得られた情報をスタッフが共有しケアが実践されています。入居者の生活リズムを尊重したケアが行なわれています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者に対するケア方針を共有し統一した対応が行なわれています。又、入所者も楽しみを共有しあい穏やかな表情・雰囲気が漂っています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時のアセスメント及び日常生活等から入居者の趣味活動（風車、畑仕事等）を見出し日常生活に取り入れ実践がされています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネジャーが作成したサービス計画に基づきスタッフが討議し介護計画の内容を深めています。又、家族の意見等も取り入れた内容になっています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しがケアマネ・スタッフで行なわれています。見直しの実践として以前は移動が出来なかった入居者が車椅子を押しての移動が可能になった実践事例がありました。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の希望により外食やドライブが行なわれています。又、新たに野菜栽培にも取り組んでいます。食材にも利用され入居者同士の交流も図られています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院・入居者の主治医の定期的な往診が行なわれ、医師からのアドバイス・指導が得られています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化したケースの対応はまだありませんが、早い段階からどのような対応が求められるか検討しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	スタッフは入居者の表情を観察しながら入居者の尊厳を大切にされた対応が実践できるよう心がけています。情報の共有に努めています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	趣味活動等入居者の生活リズムにそったケアを実践しています。又、入居者の希望を引き出しその実現化に取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の能力により可能な範囲で食事の準備等が行なわれています。食事中もスタッフとの交流を楽しんでいます。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	日曜日を除き入居者の希望により入浴が出来るシステムがあります。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜及び花の栽培が入居者の参加により実践されています。季節観を実感することを含め写生も行なわれています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望により外食やドライブが行なわれています。又、季節によっては野菜栽培に出かけています。そして近隣の住民との交流も保たれています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	日中は鍵が掛けられていません。自由に外出できる環境になっています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間を想定した防災訓練が行なわれています。今後はAEDの訓練も予定されています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者毎に食事摂取量等の記録が行なわれています。又、入居者の状態に合わせた食事対応も行なわれていました。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節観を感じるような植物が配置されています。ホーム内は適温が保たれています。入居者はそれぞれの思いで生活されています。又、不快な臭い等は感じられません。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームで準備したのがベッドのみです。その他は入居者及び家族が持ち込んで、入居者自身が生活の場を創造しています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。